

第2回「淡路島総合観光戦略会議」議事要旨

日時：令和4年10月6日（木） 15:30～17:00

場所：淡路広域消防ビル3階 多目的ホール

出席者：淡路県民局長（会長）、洲本市長（構成員）、南あわじ市長（構成員）、淡路市長（副会長）、淡路島観光協会長（副会長）

1 議事の要旨

事務局から新観光戦略（仮称）策定に向けた試案（骨子案）を説明、意見交換を実施

2 意見交換

【構成員】

- ・ 前戦略を策定してからの動きが細かく整理されているが、前回、初めて行政がかかわり戦略を策定したことなど、過去からの大きな流れがわかるような表現も加えてもらいたい。
- ・ SDGs が前面に出ているのは非常に良い。
これからの観光においてはサステナブルツーリズムの国際基準（GSTC-D）に適合した観光地でないと意識の高い人からは選ばれないと言われている。
国際基準に準じた日本版基準（JSTS-D）に合致していくような取組を計画に盛り込むことを提案する。
- ・ 近年では観光先でゴミ拾いなどを行い、自然や環境の保全に貢献するということに満足を感じるといった価値観もあるようだ。
観光地でありながら、雑草が生え放題のような状況ではいけない。このような問題も戦略に記載していくべきである。

【構成員】

- ・ 「SDGs」の射程範囲が広いため、「SDGs」という文言について、少し何か書き足すなど、工夫が必要かもしれない。

- ・ 「JSTS-D」の制度の認証ということにとらわれて、コストや労力をかけてしまうことは本来ではないと考える。ただ、その理念に沿った取組は大切だと思うので、取得を目指すよりこうした思想を取り入れるという考え方が良いのではないか。
- ・ ビジョンの「いのち輝く島」は良いと思う。
- ・ 観光地には清潔さが求められる。幹線道路やIC付近には、雑草が目立つ状況であるため、こうした問題について戦略に記載が必要と考える。

【構成員】

- ・ 国際基準はいいと思うが、とりあえずチャレンジしてみる程度で良いと考える。
- ・ 淡路島北部の高速道路上に「ようこそ淡路島へ」の看板があるが、見栄えがよくない。但馬では、「ようこそ但馬路へ」という看板を見る。淡路島にも目に見える形で「観光客のおもてなし」を訴えるものが必要。

【構成員】

- ・ 現行戦略の取組・問題点・課題の「③受入体制の強化」の「1次、2次等の公共交通機関の改善」の問題点については、いずれも島内交通の問題を述べているので、島外と島内の問題に分けて記載したらどうか。
- ・ 都市住民の異日常の求めに応えられることを目指していくという項目が漏れているのでは。取組の方向性など次の戦略につながるよう、どこかに記載をすべき。

【構成員】

- ・ 構成員から指摘のあった1次・2次の公共交通機関の改善に係る問題点の箇所は島外との交通接続の問題点と島内交通の問題点を整理して記載する方向とする。
- ・ 構成員から提案のあった「JSTS-D」については、制度そのものにしばられるものではなく、その理念を取り入れ検証するという考え方で良いのではないかと考える。改めて、策定会議においても検討してもらうこととしたい。

- ・「SDGs」の取組範囲は多岐にわたっているため、SDGsの基本的な思想の中で環境に配慮した持続可能な観光地域づくりということを戦略の柱に据えることを検討する。

以上